

## ご利用案内

通常放映日時＝土・日・祝日

通常放映時間・内容(1月～3月)

11:00(幼児～小学生向け)	13:30(小～中学生向け)	15:00(高校生～大人向け)
それいけ!アンパンマン ～星空をかえせ～  ポケットモンスター XY 宇宙の破片	プレアデス神話  かぐやと KAGUYA ～月が地球にくれた贈り物～  星空解説	月の仲間たち  NEW HORIZONS  星空解説  ※2/14(土)の「星空音楽館」は別内容となります。

※ご希望による放映も行います。事前予約が必要となりますので、詳細はお問い合わせください。

## 観覧料

高校生以上(個人)	510円
高校生以上 (団体20名以上)	410円
中学生以下	無料

☆博物館パスポート1枚につき、  
高校生以上1名無料

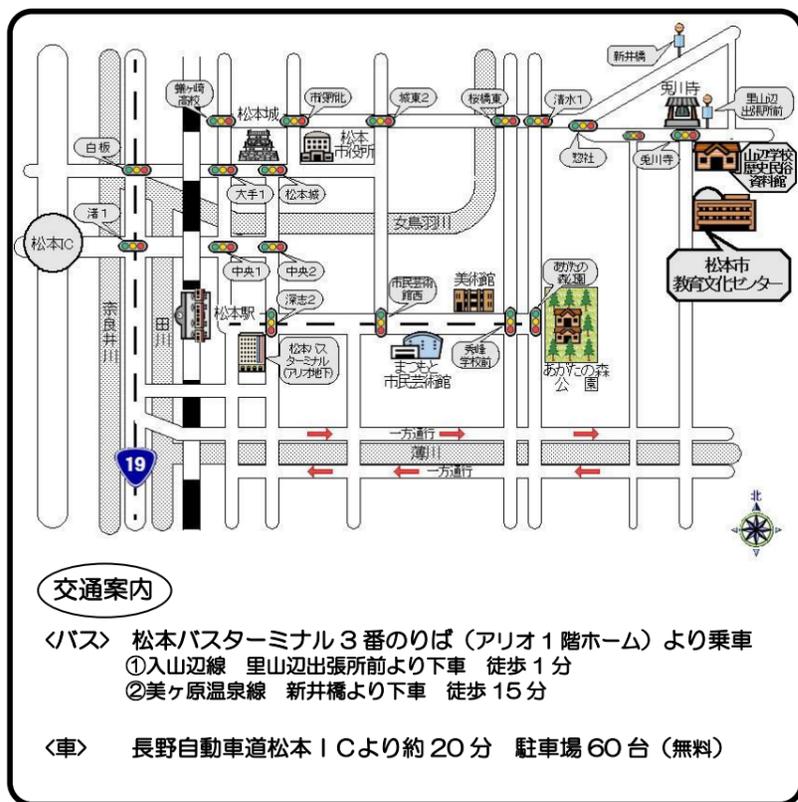
☆転入世帯優待券1枚につき、  
1世帯家族無料

☆障害者手帳持参により、  
本人とその介助者1名無料

☆市内在住70歳以上の方は無料

☆その他、各種イベント開催時には無料

## アクセス



### 編集後記

「ほしみる」No.20の発行です。  
木星は神々の王ゼウスのシンボルとされていますが、彼はギリシャ神話の中で大変多くの美女と恋に落ち、神話を紡ぐ神々や英雄たちの父となります。私たちが星空に煌々と輝く木星に心引かれるように、ゼウスもまた心引かれずにはいられない魅力的な男性であったのでしょうか…?

### 松本市教育文化センター

〒390-0221 松本市里山辺 2930-1

TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604

E-mail:kyoubun@city.matsumoto.nagano.jp

☆ 教育文化センター プラネタリウム通信 ☆

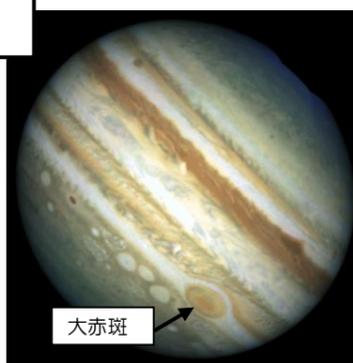
# ほしみる

No.20 2015.2.1

## 夜半の明星・木星

夜空を眺めていると、星座を作る星々とは別に、ひときわ明るく輝く星を見つけることがあります。これらは「惑星」と呼ばれ、星座の星々とは違い、時期によって見える場所が変わることから「さまよい歩く星」とも呼ばれます。今回は惑星の1つである「木星」を紹介します。

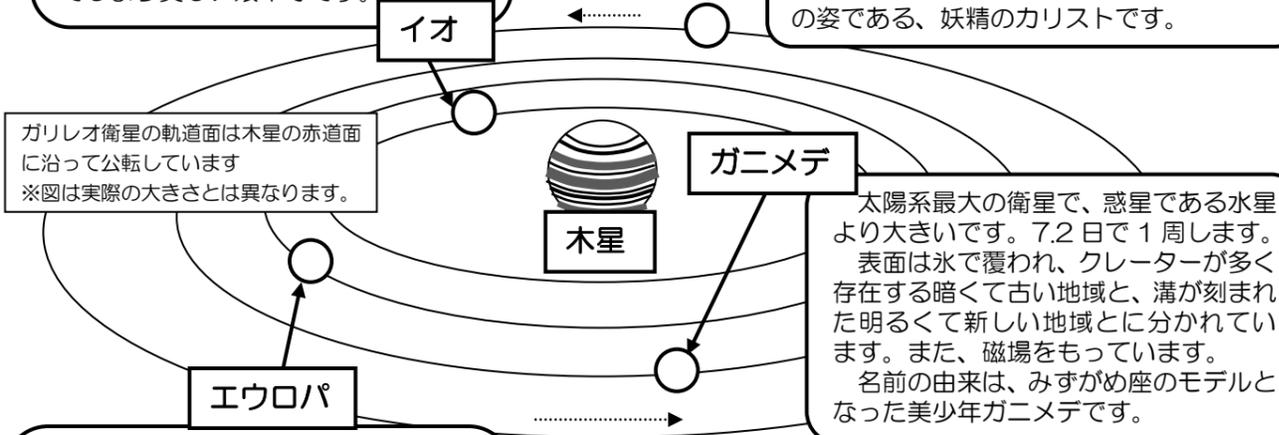
木星



太陽の周りを回る天体の中で、1番大きくて重い惑星です。直径は地球の11倍、重さは318倍もあります。ガスでできた惑星で、ほとんどは水素ガスで占められています。自分で回転する(自転)速度がとても速いため、表面には特徴的なしま模様や渦模様(大赤斑など)ができます。1日の長さは約10時間で、とても短いです。  
 衛星(惑星の周りを回る天体)を60個以上持ち、特に有名な4つは発見者にちなんで「ガリレオ衛星」と呼ばれています。それぞれ木星に近い順から、イオ、エウロパ、ガニメデ、カリストと名付けられています。  
 木星は、堂々と光り輝くその姿から、ギリシャ神話の神々の父ゼウスと同一視されています。また、ガリレオ衛星にはそれぞれ、ゼウスの恋人たちの名前が付けられています。

ガリレオ衛星のうち、1番内側を回っています。大きさは月と同じくらいです。1.8日で1周します。  
 火山が多くあり、現在も活動中です。表面は火山から流れ出す溶岩で覆われています。  
 名前の由来は、白い牡牛に変えられてしまう美しい娘イオです。

ガリレオ衛星のうち、1番外側を回っています。16.7日で1周します。  
 表面は氷で覆われ、クレーターが多数存在します。他のガリレオ衛星と異なり、中心に金属の核がなく、氷や岩石、金属の混合物が内部を占めています。早期に活動を停止した衛星です。  
 名前の由来は、おおぐま座が変身する前の姿である、妖精のカリストです。



イオのすぐ外側を回る衛星です。3.6日で1周します。  
 表面が氷で覆われ、ひびわれのような溝模様が見られます。これは、エウロパの内部から氷か水が上昇してきたためと考えられており、液体の水が存在する可能性が指摘されています。  
 名前の由来は、ヨーロッパ大陸の語源にもなった、美しい王女エウロパです。おうし座の物語にも登場します。

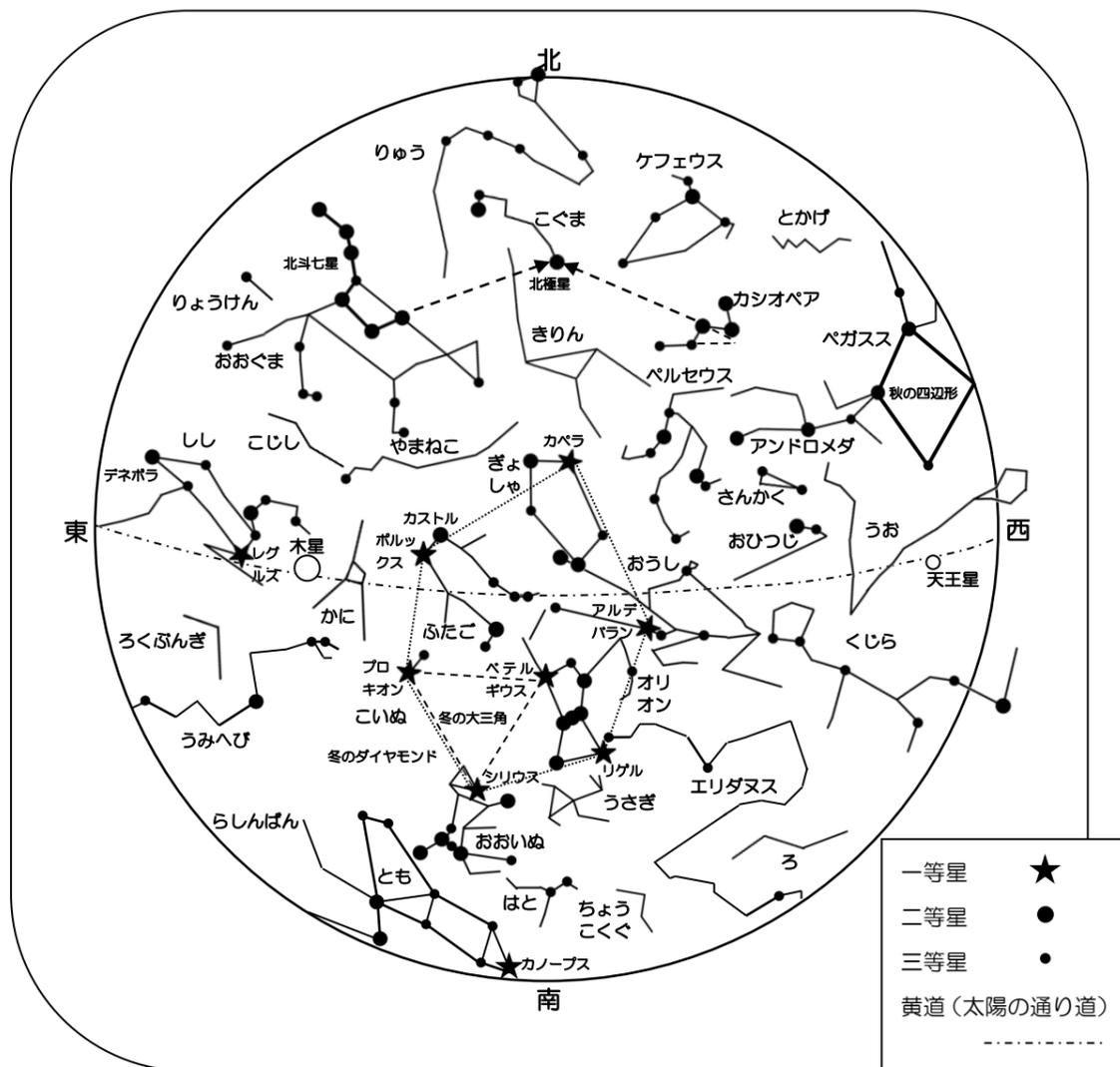
### 木星の見どころ

今年の6月ごろまで、ガリレオ衛星同士の相互食が頻りに起こります。また、2月7日は木星が衝となり、観測の好条件となります。7月1日には金星と大接近をし、明るく輝く2つの惑星の競演が楽しめます。

(「衝」「相互食」については別ページの解説をごらんください。)

# 季節の星空

2月15日 20時頃の松本の星空



一等星 ★  
 二等星 ●  
 三等星 ●  
 黄道(太陽の通り道) - - - -

## 2月の主な天文情報

- 4(水) 満月、月が木星の南を通過
- 7(土) 木星がかに座で衝
- 11(水) 木星の衛星エウロパの影にイオが入る(相互食)  
木星の衛星カリストの影にガニメデが入る(相互食)
- 18(水) 木星の衛星エウロパの影にイオが入る(相互食)
- 19(木) 新月
- 21(土) 月と金星、火星が接近
- 22(日) 金星と火星が最接近
- 26(木) 木星の衛星エウロパの影にイオが入る(相互食)

衝 → 外惑星が地球を挟んで太陽と正反対の位置になること。このとき惑星はほぼ一晩中観測ができ、大きく明るく見えます。

**ガリレオ衛星と相互食**  
 木星にある多くの衛星のうち、特に大きな4つの衛星を「ガリレオ衛星」と呼びます。木星の赤道面は6年に1度、地球から見て真横を向くため、赤道面の延長線上を回るガリレオ衛星も真横を向き、他の衛星を隠したり、衛星の影に他の衛星が入り込んだりする「相互食」が発生します。

## ☆ ☆ ☆ プラネタリウム事業案内 ☆ ☆ ☆

- 2/14(土) ☆星空音楽館 15:00~  
プラネタリウムで星空を見ながら音楽を鑑賞しましょう。今回のテーマは「サウンド オブ ニューワールド~リクエスト特集~」です。申し込み不要。先着 90 人。
  - 2/21(土) ☆星空散歩・星の観望会 19:00~20:30  
天体望遠鏡を使って、季節の天文現象を観測します。(天候不順で観測ができない場合はプラネタリウムをご覧いただきます。) 受付開始:2/11(水) 8:30 より 定員:40 人(小学生以上)
  - 3/ 1(日) ☆太陽観測 9:00~10:15  
大型天体望遠鏡を使って、太陽のプロミネンスや黒点を観測します。専用のフィルターを使用し、安全に観測できます。(天候不順で観測ができない場合はプラネタリウムをご覧いただきます。) 受付開始:2/19(木) 8:30 より 定員:15 人(小学生以上)
- ※事前申し込みが必要な事業についての受付は、電話受付のみとさせていただきます。

## アルゴ座とカノープス

アルゴ座は、冬~春先にかけて、日本では南の地平線上で見ることのできる星座です。アルゴ船座とも呼ばれ、その名の通りとても大きな船の星座です。ギリシャ神話では、おひつじ座のモデルとなった金色の羊の毛皮を求め、冒険をする勇者たちを乗せたとされています。

しかし、現在数えられている 88 の星座の中に、アルゴ座の名前はありませぬ。あまりにも大きすぎたため、船の各部分ごとに分けられ、18世紀にフランスの天文学者ラカイユによって、「とも座」「りゅうこつ座」「ほ座」「らしんばん座」の4つに分割されました。(「とも座」「りゅうこつ座」「ほ座」の3分割とする説もあります。)

2月に入ると、地平線近くの南の空に「カノープス」という1等星が上がってきます。カノープスはりゅうこつ座の1等星であり、全天で2番目に明るい星です。ただし、日本からは南の地平線ギリギリの位置に見えるため、観察が非常に困難な星とされています。そのため、拝めたら縁起がいい星として、長寿になれる星「南極老人星」とも呼ばれています。

見つけるには、良く晴れた夜に南の低い空まで開けた場所で観察をする必要があります。

